



8月29日(火)

## 神様が望んでおられること

聖書朗読 Iテサロニケ 5:16~18

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい。

Iテサロニケ 5:16~18

多くの人たちが神様に向かって声を上げ、「主よ、あなたが私に望んでおられることは何ですか。」と尋ねます。私たちが信じ従いさえすれば、神様は私たちをみこころへと優しく導いてくださいます。でも、今日の朗読箇所には、「キリスト・イエスにあって神が私たちに望んでおられること」である、3つの明確なことが示されています。

第一のみこころは、「いつも喜んでいなさい。」です。言うに易く、行うに難しです。でも、私たちは喜びにあふれた態度を持つようにしなければなりません。前向きに考えることは、いつも物事の暗い面ばかり見ると、難しさの点で大して変わりないように思えます。喜ぶ方を選びましょう。

第二の忠告は、「絶えず祈りなさい。」です。この一節からは多くの論議が起きました。たいていは、祈り続けるなどということは不可能だと訴える、否定的な主張です。でも、確かに、私たちはいつも祈ったり、思い出した時に祈ったりする用意をすることはできます。

第三に、みことばは「すべてのことにおいて感謝しなさい。」と言います。これもまた、私たちが「神を愛する人々、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています」(訳注:ローマ8:28)ということ覚えていなければ、不可能だと思えるでしょう。

ですから、神様が望んでおられることはこうです。喜んで生き、いつも神様と親しく交わり、感謝の気持ちを持つことです。友よ、これこそ神様の素晴らしいみこころなのです。

讃美歌 いつも喜んでいなさい

祈り 聖なる神様、私たちは時々不平を言うかもしれませんが、あなたは私たちに望んでおられることを完全に示してくださっています。私たちの弱さを救し、ただ、あなたのみこころを行うための勇気と品性をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ウェストレイク・ヴィレッジ  
ビル・ヘネガー

8月30日(水)

## 信頼できる？

聖書朗読 Iテモテ 1:12~17

私は、私を強くしてくださる私たちの主キリスト・イエスに感謝をささげています。なぜなら、キリストは、私をこの務めに任命して、私を忠実な者と認めてくださったからです。  
Iテモテ 1:12

娘の最初の自転車には補助輪が付いていました。彼女は補助輪を外したがりでしたが、私たちは娘を信用してよいか自信がありませんでした。同じような慎重さを、娘が初めて登校した時、初めて一人で運転した時、初めてのデートの時、感じました。彼女は信頼できたでしょうか。

でも、神様は、私たちが生まれながら罪を犯す者であると確かにご存じでありながら、私たちに信じ保ち続け、「忠実な者と認めて」くださいます。パウロも知っていたように、私たちは、神を冒瀆する者、迫害する者、暴力をふるう者であった時に、あわれみを受けたことを知っています。まさに驚くべき恵みです。

この恵みに対して、神様をほめたたえる以外に応える方法があるでしょうか。主の恵みは今日、ゆたかに私に注がれています。主は私に永遠のいのちを与えてくださり、私は確かに受け取りました。最近、私は、重い病気で伏せている、ある兄弟を訪ねました。彼は、次の誕生日で90歳になるけれど、それまではもたないと思うと言いました。わたしは彼に、死が迫っていることについてどう思うかと尋ねました。彼は、神様の恵みによって救われていること、神様が罪人を救うために世に来てくださったことを、とても感謝していると言いました。彼の自信と信頼にあふれた素晴らしい話のことを、私はよく考えます。

讃美歌 461

祈り 父なる神様、あなたをほめたたえます。あなたは誠実さのうちに私を保ち、あなたの御前に永遠におらせてくださいます。イエス様のお名前によって感謝します。アーメン。

テキサス州 ラボック  
ボブ・マイズ



8月31日(木)

## 彼女に襲われるかもしれない!

聖書朗読 ヘブル 1:1~4

主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか。主はあなたに何を求めておられるのか。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。  
ミカ書 6:8

ルカの福音書18章の裁判官のとえ話は滑稽と言ってもよいくらいです。ある町に、神をも恐れず、人を人とも思わぬような裁判官がいました。そんな彼でしたが、彼のところにひっきりなしにやって来ては「私を訴える人をさばいて、私を守ってください。」と言い続ける貧しいやもめが、ついには彼を襲いに来るかもしれないと気に病んでいました。

恐怖は不正を働く者の心に埋め込まれます。旧約時代の預言者たちが書き記した主たるテーマは、公正とあわれみを示すべき民が犯した失敗でした。この失敗こそが、イスラエル王国・ユダ王国ともに、アッシリアやバビロニアに捕らわれることになった基本的な理由です。公正とあわれみの脱落は、神様ご自身を否定することと繋がっていました。

私たちが自分自身を第一にすると、他の人々のための公正を見分けるのは難しいです。公正を示す者は襲ったりしません。自分自身を分け与えます。神様は私たちを呼び出され、恵まれない人たちに思いやりを持ち、困っている人たちに与え、寡婦や孤児の世話をするようにとおっしゃいます。今日では援助の方法がたくさんあり、助けの手を伸べる良い機関もたくさんあります。住み慣れた町ででも、外国ででも、あなたがそのような努力に加わる時、神様が祝福して下さいますように。神様の御名によって与えましょう。

讚美歌 II26

祈り 愛する神様、この地上におけるあなたの代理人として、言葉だけではなく、行いをもって、公正とあわれみを示すことができますように。主よ、あなたが、私たちが与え行うことができるようにさせて下さる方法、場所、相手をお示しください。あなたの義といつくしみによって、人々の人生を変えるきっかけとなれるようにお導きください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック  
ジェス・ピーターソン

9月1日(金)

## そんなこと考えたくもない!

聖書朗読 ヘブル 10:11~14

見よ、世の罪を取り除く神の子羊。

ヨハネ 1:29

一人の母親が食料品店で家族で食べる夕食のためにロースト用の肉を買いました。肉はきれいなセロファンで包まれ、政府の検印が押されていました。彼女と幼い息子は、家に帰る途中、ファスト・フード店に寄って、ハンバーガーを買いました。ハンバーガーは、動物の漫画が描かれた可愛い小さな箱に入っていましたが、私が思うに、そういう動物をこれから食べようとしているんだという事実を隠ぺいするためではないでしょうか。

古代イスラエルにおいては、動物のいけにえをささげることは普通のことでした。イスラエルの民の神様への礼拝の一部でした。いけにえは、彼らが食べる肉を用意するためにも使われました。現代社会では、動物をいけにえにするという考えを聞いただけで、ぞっとするでしょう。私たちはたいいてい、自分たちが食べる肉がどういった由来のものかなど考えたくもありません。きれいさっぱりとしておきましょう。細かいことは考える必要はありません。

でも、イエス様は、私たちの罪のためにいけにえになられた「神の子羊」でした。その犠牲には苦痛がありました。その事実を無視してはいけません。キリストが払ってくださった犠牲の肉体的本質を認識しなければ、私たちの贖いのために進んでひとり子をささげてくださったほどの、神様の私たちへの愛の深さを見損なってしまうかもしれません。神様の私たちへの大きな愛をよく考えてみてください。そして、それに応えるために人生を生きていきましょう。

讚美歌 讚美歌 21 283

祈り 主よ、あなたの私たちへの大きな愛をもっと深く理解することができるように助けてください。イエスさまのお名前によって。アーメン。



テネシー州 ナッシュビル  
ケヴィン B・レイチェル

9月2日(土)

## 恐れるな

聖書朗読 ヘブル 12:1~3

あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。  
ヨハネ 14:1

時々、世の中が恐くなる時があります。見回せば、憎しみや分断があります。暴力や薬物問題も目に留まります。子どもたちが、時に制御不能に陥っているように見える世界で育っているのを見ます。そんな世の中を見て恐くなるのは、いとも簡単です。否定と絶望の負のスパイラルにたやすく捕らわれてしまいます。不完全なものに目を留めることは、私たちを減退させるだけです。

クリスチャンは、見回しては、世間で見かけるあらゆる問題にフォーカスして、生涯を送っている訳ではありません。ヘブル人への手紙の著者は、走り続けるにあたって、イエス様から目を離さないでいるようにと言います。イエス様に目を留めれば、世界はそれほど恐くありません。イエス様がすでに世に打ち勝たれたことを、私たちは知っているからです。

イエス様は光です。あなたを減退させるだけの物事を見るのは止めて、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエス様から目を離さないでいましょう。イエス様は両手を広げて、あなたのそばにおられます。

讃美歌 243

祈り 主よ、世の中を見回して、あなたから目を離してしまっている時、私たちをお赦してください。私たちが感ずる恐怖や心配は、私たちが本来見つめるべきお方へと目を向けなければならないと思ひ起こさせてくれます。私たちから決して目を逸らさないでいてくださって、ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

オハイオ州 ウォレン  
ピート・ナッシュ

9月3日(日)

## 大丈夫、じゃない

聖書朗読 ヤコブ 1:1~18

神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。  
I コリント 10:13

社会的習慣として、私たちは人に会ったら「元気ですか。」と聞きがちですが、別に「元気です。」という返答以外のことを聞きたいとは思っていません。私が化学療法を受けていて「体調はどう？」と訊かれた時は、人々が聞きたいとも思わない長々しい答えて彼らに心配をかけたくないとは思いましたが、「良いわ。」とさり気なく答えることはできませんでした。それで、私はただ「耐え忍んでいます。」と答えました。私たちは時に我慢や忍耐という特性を尊ばない時がありますが、聖書は尊んでいます。今日の聖句は私たちに試練に耐える自信を与えてくれます。また、パウロは、コリント人への手紙の第2の手紙の1章6節で、私たちが受ける「慰めは、苦難に耐え抜く力を与えてくれる」と請け合っています。

でも、忍耐は、神様の御姿に近づく成長過程の一部であって、最終結果ではありません。ローマ人への手紙の5章3節にはそのことが説明されています。すなわち、苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出します。そして、この希望は失望に終わることはありません。ですから、私たちは、「元気です。」という答えを聞きたいだけかもしれませんが、忍耐もほめたたえようではありませんか。

“霊的な忍耐が求められています。しがみついて何もしないのではなく、神は決して負けないという確信を持って、慎重に働くよう求める呼びかけです。”

—オズワルド・チェンバース\*

\*訳注：バプテスト派の伝道者・説教者。『霊的な忍耐の訓練』の中の1節。

讃美歌 87B

祈り 主よ、私たちが体調を崩している時、忍耐によって力づけてください。あなたにはいつも希望があると知り、信仰の成長を得られますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 マラブー  
スーザン K・ギボニー